

2017年度しょうがいのある学生の避難訓練

しょうがい学生支援室

【日・時】2017年9月19日(火) 8時50分～17時50分

【場 所】4号館しょうがい学生支援室サポートルーム

【目 的】「しょうがい学生としょうがい学生支援サポーター及びボランティアにおける防災訓練実施と個別避難計画の作成」

【スケジュール】

- 9月19日 8時45分 PCセッティング
8時50分 参加者集合
9時00分 インクルーシブ学生支援センター室長挨拶
9時05分～ 吉村千恵先生講義
「今、地震が来たらどう行動する?!～自分の避難計画は自分で決めよう～」
10時30分 Yさん「個別避難計画を作成した経験から」
10時40分 グループ分け
10時50分 グループごとに個別避難計画作成
個別避難案ができたグループから実施(4号館階段)
12時10分 昼食休憩
13時00分 個別避難案ができたグループから実施
個別避難案実施→案を修正
修正案→実施
最終版作成→図書館2F201グループ学習室使用
ラミネート
16時30分 各グループまとめ・感想発表
17時30分 吉村千恵先生より総括
17時45分 しょうがい学生支援室より
17時50分 終了・解散

【実施風景】



【課題】

- ① 避難訓練実施に関するもの
 - ・ボランティアの確保。
 - ・しょうがい学生の防災訓練への参加意識(車いす学生 7 名中、不参加 2 名)。
 - ・教職員との連携(今年度は、学生課の協力有)。
- ② 個別避難に関するもの
 - ・個々の危機管理意識の低さ。
 - ・誰が見てもわかりやすい個別避難計画書の作成。
- ③ 大学で被災した際の現実に即した避難方法について
 - ・すぐに避難できない場合の安全な待機場所の確保(蛍光灯がない、階段の近くでない等)。
 - ・学生が避難する際の支援者の確保(しょうがい学生 7 名)に対しての人員配置。

【成果】

- ① 避難訓練実施に関するもの
 - ・インクルーシブ学生支援センターのメンバーだけでなく学生課の協力も得て実施することができた。
 - ・個別避難計画書を作成したことで、しょうがい学生の防災意識が向上した。
- ② 個別避難に関するもの
 - ・車いすごとの避難、おんぶ、担架での避難と本人の身体状況および希望に応じた避難方法の経験により自身の身体状況に即した避難方法が分かったこと。
 - ・車いすの構造を知った(避難する際にどこを持ってもらえばよいか分からなかったなど)。
 - ・昨年(平成 28 年度)の避難訓練時よりも落ちついて支援者への支持ができていた。
- ③ 大学で被災した際に現実的な避難方法について
 - ・しょうがい学生と支援者双方にとってできるだけ安全な避難方法を模索することができた。

【平成 30 年度の避難訓練に向けて】

避難訓練、個別避難計画書作成は、しょうがい学生と支援者が震災時の危機管理について考え、個々に即した避難訓練を実施する機会である。しょうがい学生には継続して参加するよう促し、卒業後も身体状況に応じた個別避難計画書を自身で作成できるようにする。また、ボランティアで参加するしょうがいのない学生もしょうがい学生の避難方法を知ることによって、災害弱者への理解が深まると思われる。しょうがい学生がどこで被災しても、本人が周囲の人へ避難方法を伝え避難できるようスキルアップを目指し、さらに身体しょうがいだけでなく発達しょうがいも重複している学生が入学してくることも踏まえ(パニックをおこす可能性あり)、教職員を含めた訓練ができるよう働きかけていきたい。